

ブロッカー物語

就労支援センター NEST



ブロッカー物語

- ◆【空間除菌ブロッカー(旧 ウイルスブロッカー)】
- ◆ 顆粒状の二酸化塩素剤をアルミ袋に閉じ込めた除菌・消臭剤。

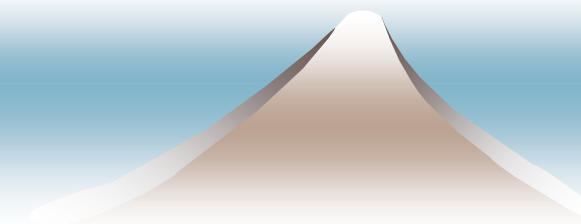


【フジ化学と就労支援センターNEST】

- ◆ NESTは一般企業であるフジ化学から生まれた障がい者の就労支援事業所。
- ◆ 就労継続A型の就労先がフジ化学であるなど、関わりが深い。

東日本大震災と東北への思い

- ◆ 2011年3月11日 東日本大震災
- ◆ 震源から離れた静岡県でも揺れを感じるほど大きな地震だった。
- ◆ フジ化学も地震による停電の影響を受けた。
- ◆ 数日後、富士宮市を震源とする地震もあり、人事ではないと感じた。
- ◆ 「何か自分たちにも出来ることはないだろうか」と被災地へ義援金という形でその思いを届けた。



出会い

- ◆ 2011年11月 ウイルスブロッカー(現 空間除菌ブロッカー)に出合った。
- ◆ 手に取ったパッケージには『被災地雇用創出事業』の文字。
- ◆ 「これだ！」と思った。

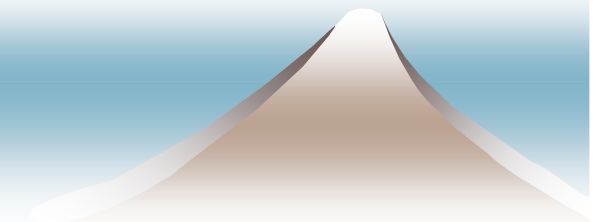


販売拡大での支援

- ◆ 製造販売元であるエンブロイ社に、販売促進により被災地雇用創出に繋がるなら応援したいとメールを送った。
- ◆ フジ化学の障がい者雇用にも共感を頂き、翌年1月には販売代理店となった。
- ◆ 風邪やインフルエンザが流行る冬ということもあり、周知とともに売れ始めた。
- ◆ 1月～3月分の販売利益を福島陸前高田作業所への義援金としてエンブロイ社へ託した。

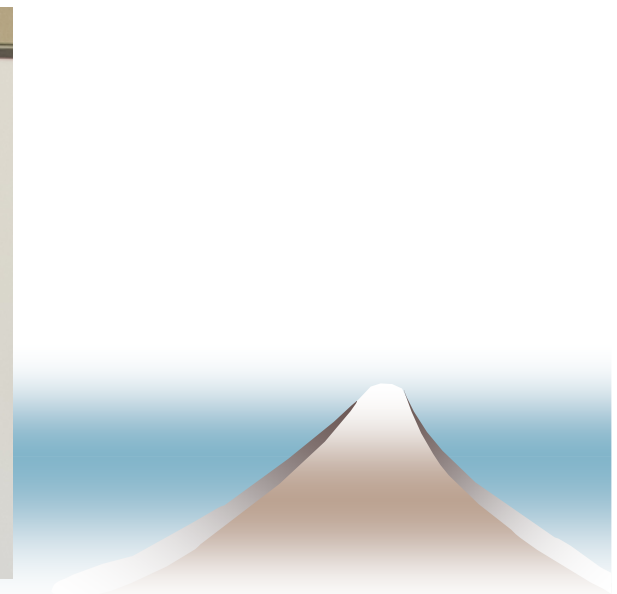
販売から製造への応援

- ◆ 販売開始から2,3ヶ月で仕入れが止まった。
- ◆ 製造が追いつかなくなっていた。
- ◆ 製造部門での応援についての相談はすぐに決まった。
- ◆ こころね(現 就労支援センターNEST)の移行支援で2012年3月から製造を始めた。



生産工程を考える

- ◆ 職員が製造工程を学ぶ。
- ◆ 「誰でもわかりやすい手順」へと工程を分解。
- ◆ ラインの形、使う道具、補助のツールと、不良が発生しにくく効率的な状態に整えていく。



工程表と手順書の整備

- ◆ 日付スタンプ
- ◆ シール貼り
- ◆ 薬剤詰め
- ◆ シーラー
- ◆ 包装
- ◆ 梱包

作業内容	写真	注意事項
1. パッケージを白ヘッダーに入れる。		薬まで平準に入れる。
2. 薬液の定量を1/4ほど削がす。		1/4はがす
3. 両端をつまみ折り曲げる。		接着面に触れないこと。
4. 折り差し部分両端をそろえて押さえる。		ズレないように押さえる。



それぞれの工程



- ◆ 日付スタンプ
「製造年月」のスタンプを押す作業。
インクを乾かすためと
数量管理のためにさしこを使用。



また、片手でも作業できるよう、
固定の木枠の治具を作成。

それぞれの工程



- ◆ シール貼り
成分が出る穴をシールで塞ぐ作業。
空気が入らないよう、
ゴム板とヘラを使用している。



- ◆ 薬剤詰め
薬剤の入った袋をアルミケースに
入れる作業。
薬剤の成分が出過ぎないように、
小分けの容器を使用。

それぞれの工程



◆ シーラー

薬剤の入ったアルミケースに封をする作業。
作業しやすいよう、シーラーに補助の治具が複数つけられている。

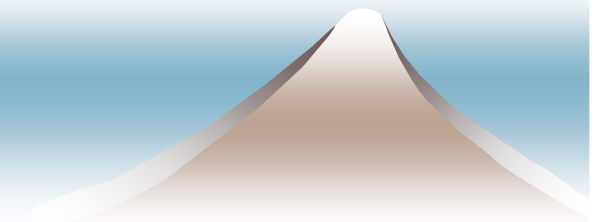


◆ 白ヘッダ(包装)

包装用袋(白ヘッダ)に入れて封をする作業。
シールタイプとシーラータイプがある。

視察から受注拡大へ

- ◆ 2012年4月にはエンブロイ社から監査を兼ねた視察見学があった。
- ◆ その際、安全・品質管理等過大な評価を頂き、その生産体制がその後の受注拡大へと繋がっていった。
- ◆ その後、陸前高田作業所へのOEM協力などを経て製造拠点となった。



今後の展開

- ◆ 厳格な生産管理体制の下で、就労支援センターNESTの就労継続B型及び就労移行支援利用者によって製造が行われている。
- ◆ 製造の受注数が増えることで、B型及び移行の利用者の受け取る工賃も増える。
- ◆ 安定供給にできれば、今後の安定した工賃にも繋がっていく。

